

注意事項

【使用上の注意】

1. 必ず、使用前に事前調査をおこないエコクリーンバイオの適正条件を確認後、本施工をおこなってください
・既存塗膜の種類、膜厚、構成、劣化程度、気象条件などにより施工条件が異なります
2. 湿度 85% 以上の場合は施工をしないでください
3. 使用前に電動攪拌機で攪拌してから使用してください
4. 無希釈で使用してください
5. 結露面、泥、苔、鳥糞の上には塗布しないでください
6. 塗膜はく離対象部以外の箇所は適切な養生をおこない、飛散防止、防護対策をおこなってください
7. 塗膜はく離作業時に使用する工具が入らない狭隙部などには塗布しないでください
8. 施工器具の洗浄は、アセトン、IPA（イソプロピルアルコール）をご使用ください
9. 製品は密栓し、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください

【取扱上の注意事項】

1. 使用前に必ず安全データシート（SDS）をお読みください
2. 安全管理は、関係法令を遵守し労働災害防止に努めてください
3. 火器類との接触を避けてください
・火災発生時に初期消火がおこなえるよう、消火器を設置してください
・防爆タイプの機器を使用してください（照明機器：省電力充電式LED 照明など）
4. 厚生労働省「労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則」に準じる作業保護具を着用して作業をおこなってください
・作業中は換気を十分におこない、蒸発成分を吸引しないでください
・特に塗付後の翌朝は作業内に揮発成分が滞留している場合があるため十分に注意してください
5. 有害物を含有する塗料のかき落とし作業時は、電動ファン付呼吸保護具（防じん・防毒）または送気マスクおよび防護服（日本工業規格「化学防護服 規格番号JIS8115:2010」）を着用してください

【安全衛生上の注意事項】

1. 使用前に必ず安全シート（SDS）をお読みください
2. 下記の症状がある場合、すみやかに医師に診察を受けてください
 - ①皮膚に付着し体調に変化がある場合
 - ②揮発成分を吸い込んで気分が悪くなり体調に変化がある場合
 - ③眼に入り体調に変化がある場合
 - ④誤って飲み込んだ場合、体調に変化がある場合
補足：皮膚への刺激性が少ないため付着してもすぐに気がつかない場合があるので注意してください
皮膚に付着後放置した場合に起こりうる症状：皮膚のかぶれ、あかみ、皮膚のめくれ
作業衣に付着した場合、洗剤でよく洗い流してください

【施工時 関係法規制等】

1. 消防法：非危険物
2. PRT 法：非該当
4. 廃棄物処理法（廃掃法）：産業廃棄物
5. 有機溶剤中毒予防規則：非該当
6. 特定化学物質障害予防規則：非該当
7. 鉛中毒予防規則（昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 37 号）他

※本書に記載された内容は、製品の改良のために予告なく仕様を変更する場合があります



お問い合わせ

鋼構造物用 水系ブラスト粉塵軽減剤

エコクリーンバイオ

ECO CLEAN BIO

国土交通省 新技術情報提供システム
NETIS 登録番号 CB-170030-VR



鋼構造物用 水系ブラスト粉塵軽減剤

エコクリーンバイオ

ECO CLEAN BIO



さらば粉塵!!

作業性・環境・コストに優れた

鋼構造物用
水系ブラスト粉塵軽減剤



 ヤマダインプラテクス株式会社
YAMADA INFRA TECHNOS Co., Ltd.

 ヤマダインプラテクス株式会社
YAMADA INFRA TECHNOS Co., Ltd.

本 社 〒476-0002
愛知県東海市名和町二番割中 5-1
T E L.052-604-1017
F A X.052-604-6732
W E B. <http://www.eco-yamadapeint.co.jp/>

支 店 静岡・北陸・関東・名古屋・東北・関西・三重

さらば粉塵!!

作業性・環境・コストに優れた
鋼構造物用 水系ブラスト粉塵軽減剤

鉛等有害物質を含んだ旧塗膜に有効です

- 1 湿潤化による作業で効率よく塗膜を除去
- 2 ブラスト時の粉塵を大幅軽減
- 3 循環式エコクリーンブラストで更に粉塵をカット
NETIS 登録番号 CB-100047VE

エコクリーンバイオ工法 適用適否

軟化しやすい塗膜	軟化しにくい塗膜	軟化しない塗膜	その他
<ul style="list-style-type: none">・長ばき型エッチングプライマー・鉛系さび止めペイント・フェノール樹脂 MIO 塗料・エポキシ樹脂 MIO 塗料・長油性フタル酸樹脂塗料・塩化ゴム系塗料・タールエポキシ樹脂塗料・有機ジンクリッチペイント・エポキシ樹脂塗料・変性エポキシ樹脂塗料	<ul style="list-style-type: none">・鉛丹さび止めペイント※・超厚膜形エポキシ樹脂塗料・ウレタン樹脂塗料・ふっ素樹脂塗料	<ul style="list-style-type: none">・無機ジンクリッチプライマー・無機ジンクリッチペイント・無溶剤系塗料・ガラスフレーク入り塗料	<ul style="list-style-type: none">・さび・ミルスケール（黒皮）は除去できません。

剥離成分を含んだ塗膜が残存する危険性の高い狭隘部・添接部等は、
エコクリーンバイオの施工対象外としています

エコクリーンバイオの特徴

積層塗膜の深部まで浸透

エコクリーンバイオ塗布後、塗り重ねられた積層塗膜の深部まで有効成分が浸透します

塗膜を軟化膨潤状態にする

エコクリーンバイオ塗布後、塗膜に有効成分が浸透し、軟化膨潤状態になります

軟化膨潤状態となった塗膜は手工具により湿潤シート状態で

はく離除去回収することが可能です。（手工具：刃付スクレーパー、皮スキなど）

※エコクリーンバイオ工法により塗膜をはく離した場合、塗装する塗料にてきた

素地調整をおこなうことが必要です

消防法：非危険物

消防法：非危険物として取扱が可能です

※エコクリーンバイオにより はく離除去・回収した塗膜は、消防法上（指定可燃物品名：合成樹脂類）に該当します

エコクリーンバイオ

ECO CLEAN BIO

性状

系統 鋼構造物用 水系はく離剤

入目 16kg,4kg,1kg（石油缶）

色相 白

粘度 約 40Pa・S

比重 1.01

※エコクリーンバイオは原液で使用してください
※施工器具の洗浄はアセトン、IPA（インプロピルアルコール）を使用してください



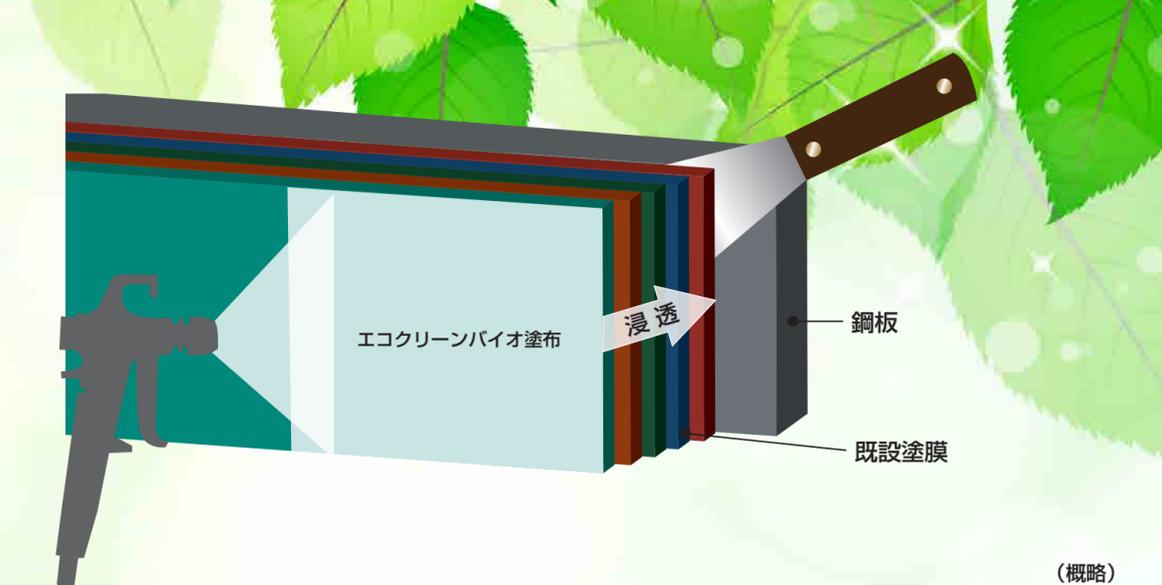
エコクリーンバイオ塗付量

残存塗膜厚への塗付量（目安）

- 塗替え履歴ありの場合0.6kg/m²/回
- 塗替え履歴なしの場合0.3kg/m²/回

●標準施工条件

鋼道路橋塗装仕様	気温湿度	対応可能な塗膜厚（目安）	軟化膨潤時間（目安）
A. a フタル酸仕様	5℃以上 85% 以下	500 μm/ 回	18 時間以上
B. b 塩化ゴム系仕様			24 時間以上
C. c ポリウレタン仕様 ふっ素仕様			
D. d タールエポキシ仕様			



エコクリーンバイオ工法の作業手順 塗膜はく離作業の流れ

事前試験の実施

エコクリーンバイオ適正確認後

使用前に必ず事前試験をおこない、
エコクリーンバイオ工法の適性条件を確認してから施工をおこなってください。



1. エコクリーンバイオ塗布

塗付面に泥、苔、鳥糞など、はく離剤の浸透を妨げる物は事前に取り除いてください。

塗付量は、ウェットフィルムゲージを使い確認管理します。

※塗布量 0.6kg/m²≒600μm、0.3kg/m²≒300μm（ウェットフィルムゲージ数値）



2. 塗膜への浸透・軟化膨張状態の確認

エコクリーンバイオを塗付後、24時間程度ではく離剤有効成分が多層塗膜の深部へゆっくり浸透し軟化膨潤します。狭隘部、添接部は対象から外します。

※低温時や塗膜の種類・塗膜厚などの影響により、塗膜への浸透・軟化時間が長くなる場合があります。

✓ 軟化膨潤状態の確認方法

カッターナイフの刃を塗膜面に当てスライドさせた際、鋼材面に直接刃が当たり金属音が発生することを確認します



3. 手工具による塗膜はく離除去作業

塗膜の軟化膨潤状態を確認した後、手工具（刃付スクレーパーなど）で塗膜はく離除去作業を実施します。塗膜を湿潤シート状態ではく離除去・回収することが可能です。鋼材面のアンカーパターン凹部には塗膜が残存します。



4. 素地調整

素地調整一種であるブラストをおこないます。塗膜除去後の作業なので粉塵を大幅に軽減できます。循環式エコクリーンブラスト工法を採用すればより粉塵軽減効果があがります